

輝く笑顔だより

R7. 6. 10 文責 副校長 横田 和重

命を大切にし、思いやりのある北諫早っ子
きたいに心えます
いつも笑顔で挨拶します
さいごまで あきらめません
ばやね 早起き朝ごはんで生活します
やくそくを守ります
いのちを大切にします。
【北諫早小学校 こころの教育推進会議】

6月6日に行われた「こころの教育推進委員会」を紹介します

北諫早小学校には「こころの教育推進委員会」というものを設置しています。どのような取組をしているのか保護者、地域の皆さんに紹介します。

まず、目的は

「めざす子ども」の育成に向け、学校・家庭・地域における「こころの教育」推進の方策を探るとともに、共通理解のもとに連携した活動の推進を図り、心豊かな人間を育む

ことです。「めざす子ども」は **いのちを大切にし、思いやりのある北諫早っ子** です。
参加していただいている方々は、

家庭代表…PTA 会長、副会長

地域代表…民生委員・児童員代表・婦人会代表・社会福祉協議会長・各町老人クラブ代表・地域代表（自治会長）・学校評議員

学校等代表…各幼稚園長・こども園長・保育園長

本校代表…管理職・主幹教諭・教務主任・推進担当部員

（※家庭、地域、学校等代表は、北諫早小学校区内の方々です。）



になります。今回（6月6日）協議した内容は

○今年度の共通目標「あいさつ」について

○地域連携の在り方について

○ぬくもりのある地域づくり…あいさつウィーク活動の内容検討

○ファミリータイムの実施について…昨年度のファミリータイムの取組の紹介

です。それぞれの立場から、建設的な意見を多数いただきました。

今年度決定したの活動等については、改めて皆様にお知らせいたします。

保護者の皆様及び地域の皆様には、本委員会の意図をご理解いただき、北諫早小学校の全ての子どもたちのために、それぞれの立場でできることに取り組んでいただければと思います。よろしくお願いいたします。

本推進委員会が立ち上がった背景には、平成13年の10月に発生した本校児童（当時1年生）に係る悲しい事件があります。あれから24年が経とうとしています。本校の全職員はこの事件のことを忘れてはいません。我々大人は、子どもの心を耕してあげることが今できる務めだと思っています。

親子の会話はどうですか

1日のうちで、お子さんとどれくらい会話をしていますか。1週間ではどれくらいでしょうか。家庭は心がくつろげる場所ですよね。「真剣な話」「笑える話」…。何でもよいので会話を常にしていくことが大切です。

話をしていくことで、子どもの心が満たされることが大いにあります。

保護者の皆さんも毎日忙しいことと思いますが、子どもは心のつながりを求めているかもしれません。

今一度、心がくつろげる居場所づくりについて考えられてみてはどうでしょうか。

